

古代日本人の遺伝的特徴を紹介

名古屋市科学館は、人骨から採取した最新のDNA研究で明らかになった日本人の遺伝的な特徴などを紹介する特別展「古代DNA―日本人のきた道―」を9月23日まで開催している。

目玉は、船泊遺跡（北海道礼文町）で発掘された縄文時代の人骨の分析を踏まえて復元された顔。40代女性で、目や髪の毛の色、皮膚の状態などがリアルに再現されている。「酒に強かった」という特徴も判明した。

久米三成古墳（岡山県津山市）に入っていた複数の人骨は異母姉妹と判明。当時、再婚が多かったことが推測されるという。2万7000年前の白保芋根田原洞穴遺跡（沖縄県石垣市）から見つかった、ほぼ全身がそろった人骨もある。

このほか、さまざまな時代の土器も展示している。



最新DNA
分析で判明

（町）の人骨と復元した顔＝名古屋市

名古屋市科学館



船泊遺跡（北海道礼文